※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では、文字の表情の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・基本的な筆使いから、行書や仮名の運筆のリズム、墨の扱い等を学び、筆の弾力を使いこなした自分らしい文字が書けるようになることを目指します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）書の表現の方式や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（2）書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（3）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	書写から書道へ	用具・用材 姿勢・執筆法 基本運筆 一字書創作 裏打ち 表装 相互鑑賞会 硬筆(夏期休業中の課題)	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 a:用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。 a:書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす働きと関わらせて理解している。 b:用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 振り返りノート	作品 相互批評 ワークシート	観察 作品 振り返りノート

※令和４年度以降入学生用

2	行書の学習	漢字の書の成立と変遷 行書の特徴 『蘭亭序』臨書 書道コンクール出品 刻印作り 文化祭書道展鑑賞	a:日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 a:行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:自身の意図に基づく表現、行書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:行書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート 作品 自己添削	作品 自己添削 集字 ノート	観察 作品 振り返り ノート 鑑賞 レポート

※令和４年度以降入学生用

2	漢字仮名交じりの書の学習	生活の中の書 年賀状の書き方 ボールペン 筆ペン <

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書の学習	仮名の成立 用具・用材 墨の扱い(墨色・墨量) 基本運筆 平仮名の単体「いろは」 変体仮名・片仮名 連綿 『蓬萊切』臨書 書道展鑑賞	a:日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。 a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 a:仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。 b:仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 b:仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:自身の意図に基づく表現、仮名の書の特質に基づく表現をする幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:仮名の書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート 作品 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りノート 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度